

第 11 回日本 Men's Health 医学会 開催報告

第 11 回日本 Men's Health 医学会はご好評のもと終了いたしました。
多数のご参加・ご支援ありがとうございました。

第 11 回日本 Men's Health 医学会が鎌倉の建長寺で開催されました。今年で 11 回目となる本研究会は、6th JAPAN-ASEAN Conference on Men's Health and Aging、第 3 回泌尿器抗加齢研究会と合同開催となりました。諸関係者のご協力により建長寺という日本古来の由緒ある寺院を会場とさせていただき、学会の開催された 4 日間で、予想を上回る約 250 名近い方々のご参加を得ることができました。特に海外講演者の方には思い出の多い国際学会になったのではないかと思います。



建長寺 三門



レクチャー風景(龍王殿)

本合同学会は第 11 回日本 Men's Health 医学会会長 熊本 悦明先生のご挨拶と太鼓によるパフォーマンスにより始まりました。6th JAPAN-ASEAN Conference on Men's Health and Aging 堀江重郎会長のアイデアの詰まった企画のもと食品因子から前立腺がんの予防を考えるセッションから、男性ホルモン低下と精神状態の関係、メタボリックシンドロームと男性ホルモン、さらには、男性の生活改善に関わる ED 治療薬などの話題など、包括的に男性医学を捉え、ASEAN 諸国をはじめとする海外の先進的な医師たちと討議する機会となりました。また、特別企画として震災後の日本、男性の在り方、政治の在り方を考える岡本行夫先生や島田晴雄先生とのセッションなど、これからの日本の将来を考えるご講演も盛況でした。



左:住職 中:熊本先生 右:島田先生

学会期間中に催された座禅の会や、普段は閲覧できない禅寺の魅力の詰まった建長寺ツアー、鎌倉ツアーなどの日本の文化を知ってもらうための企画も海外参加者のみならず、多数の学会員の参加をいただき大変好評でした。



座禅の会(英語によって行われた)



鎌倉ツアー

本学会の開催にあたり、理事、評議員をはじめ会員の方々のご指導、ご支援、ご参加に感謝いたしますとともに、企画についてご尽力いただいた方々、海外講演者、参加者、事務局の方々、ご協賛いただきました企業の方々の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。また、東北に震災にあわれた子どもたちに絵本を贈るプロジェクトにご賛同いただき、多大なご寄付を学会参加者からいただきました。重ねて深く御礼申し上げます。来年もたくさんの会員の皆様にご参加いただき、是非、本学会を盛り上げていただければ幸いです。



ウェルカムレセプション 鎧姿で登場した奥井識仁先生